

【日の出入り・月の出入り表】

2023年 4月

提供:国立天文台

日	日の出 時:分	南中時 時:分:秒	高度 度	日の入り 時:分	月の出 時:分	月の入り 時:分	月齢 12:00	備考
1	6:10	12:25:11	61.2	18:41	14:04	3:43	9.9	
2	6:09	12:24:53	61.6	18:42	15:02	4:16	10.9	
3	6:07	12:24:35	62	18:42	15:59	4:46	11.9	
4	6:06	12:24:17	62.4	18:43	16:56	5:13	12.9	
5	6:05	12:24:00	62.8	18:44	17:54	5:38	13.9	清明※1
6	6:03	12:23:43	63.2	18:45	18:53	6:04	14.9	満月
7	6:02	12:23:26	63.5	18:45	19:55	6:31	15.9	
8	6:01	12:23:09	63.9	18:46	20:59	7:00	16.9	
9	5:59	12:22:52	64.3	18:47	22:05	7:33	17.9	
10	5:58	12:22:36	64.6	18:48	23:13	8:13	18.9	
11	5:57	12:22:20	65	18:48	--:--	9:01	19.9	
12	5:56	12:22:04	65.4	18:49	0:20	9:57	20.9	木星が合※2、水星が東方最大離角※3
13	5:54	12:21:49	65.7	18:50	1:21	11:02	21.9	下弦
14	5:53	12:21:33	66.1	18:50	2:15	12:12	22.9	
15	5:52	12:21:19	66.5	18:51	3:01	13:24	23.9	
16	5:51	12:21:04	66.8	18:52	3:40	14:35	24.9	
17	5:50	12:20:50	67.2	18:53	4:14	15:44	25.9	土用の入り※4
18	5:48	12:20:37	67.5	18:53	4:45	16:51	26.9	
19	5:47	12:20:23	67.9	18:54	5:14	17:57	27.9	
20	5:46	12:20:11	68.2	18:55	5:44	19:04	28.9	新月、穀雨※5、金環皆既日食(沖縄)
21	5:45	12:19:58	68.6	18:56	6:15	20:10	0.4	
22	5:44	12:19:46	68.9	18:56	6:50	21:15	1.4	水星が留※6
23	5:43	12:19:35	69.2	18:57	7:29	22:19	2.4	
24	5:41	12:19:23	69.6	18:58	8:13	23:19	3.4	
25	5:40	12:19:13	69.9	18:59	9:03	--:--	4.4	
26	5:39	12:19:03	70.2	18:59	9:57	0:13	5.4	
27	5:38	12:18:53	70.6	19:00	10:54	1:00	6.4	
28	5:37	12:18:44	70.9	19:01	11:52	1:41	7.4	上弦
29	5:36	12:18:35	71.2	19:02	12:50	2:16	8.4	昭和の日
30	5:35	12:18:27	71.5	19:02	13:48	2:46	9.4	

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 清明:二十四節季の一つ。意味:すべてのものが生き生きとして、清らかに見える。

※2 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※3 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。

※4 土用:四立(立春・立夏・立秋・立冬)のおよそ18日前をいう。最終日が四立の前の日・節分になる。

※5 穀雨:二十四節季の一つ。意味:穀物を潤す春雨が降る。

※6 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していきように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」となります。